

取扱注意

平成27年度第1回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 平成27年5月22日（金） 10時～12時
- ・出席者 運営委員：14名出席（欠席委員：1名）
 ウィズセンター：所長、次長、職員
 男女共同参画青少年課：担当班長

議 事	概 要
1 開会 2 委員の紹介 3 委員長及び副委員長選出 4 議題 (1) ウィズセンターの概要及び平成27年事業について [質疑等] 池亀委員 ウィズセンター 中西委員 ウィズセンター 山本委員 ウィズセンター	ウィズセンター説明 ・ウィズセンターでは、男女共同参画社会の実現に向け、様々な素晴らしい事業を実施されているが、県民には意外と知られていないと感じている。既にいろいろな媒体を活用してPRに努めていると思うが、やはり効果の大きいテレビをもっと活用すべきと思う。 ・ウィズセンターの事業については、チラシの配布、新聞・ホームページへの掲載、フェイスブック・メールマガジンでの発信などPRに努めているが、十分であるとは思っていない。提案いただいたテレビによる広報については枠の問題もあり採用されることは簡単ではないが、今後もテレビを含めあらゆる広報媒体を活用しながら、効果的なPRに努めてまいりたい。 ・今年度の事業として「子育て中の女性への多様な働き方の機会提供事業」があるが、具体的な内容について教えてもらいたい。 ・求人ニーズの高い実務知識を習得してもらうための託児付き研修を県内2か所程度で開催する事業などがあるが、詳細については今後詰めていく予定である。 ・高校で実施されている「ストップ・DV事業」は参加者も多く、非常に効果が出ていると思われる事業もあれば、中には企画自体はよくても参加者が特定の人に限定されるなど、広がりを持たないものがあるように思える。これは県だけではなく、多くの団体における共通の課題でもある。 ・人を集めるということは本当に難しいことであると思っており、委員の皆さんのご意見をいただきながら、県民が参加したいと思えるような講座等を企画してまいりたい。

議 事	概 要
森高委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等を開催しても、なかなか人が参加してくれないという話があったが、活動団体にとっては永遠の課題だと思う。例えば、ウィズセンターのユーザーについて考えると、①当事者でかつ自らがウィズセンターのユーザーと認識している人、②当事者であるがウィズセンターを知らない人、③当事者ではないが男女共同参画に関心を持っている人、④当事者でもなく関心も持っていない人の4種類に分けることができる。事業によって、ターゲットがそれぞれ異なると思うので、それに応じてアプローチの仕方もいろいろ考えていく必要がある。
貝原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の評価として、参加者の数も大事だが、参加者がどれだけ参画し、どれだけのものを得たかがもっと重要であると思う。 ・ 男女共同参画推進月間(11月)には、ウィズセンターにて登録団体交流会が開催されているが、様々な団体との交流ができるよい機会になっている。今後も様々な団体との連携が必要になってくると思うので、より多くの団体との交流が行えるよう様々な分野で活躍している団体へ呼びかけてはどうか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の男女共同参画推進月間中の事業についても、ウィズセンターへより多くの県民に来ていただけるよう、委員の皆様や登録団体等からアイデアや協力をいただきながら、詳細について検討してまいりたい。
坂本副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の財政が厳しいのは分かるが、男女共同参画推進月間実施事業について、予算が全く付いていないのは理解できない。 ・ 若い世代へのアプローチについて考えていくためにも、次期運営委員の選考に当たっては、利用者代表に若い人をお願いしたい。 ・ 男女共同参画青少年課には、是非県下の市町村における男女共同参画の取組を後押ししてもらいたい。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民にとって最も身近な市町村の果たす役割は重要であることから、男女共同参画青少年課といたしましても、ウィズセンターと協力しながら支援してまいりたいと考えている。
山下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て中の女性への多様な働き方の機会提供事業」について、働く女性にとって保育は重要な問題なので、関係機関と連携を図りながら事業を進めてもらいたい。 ・ 「男女共同参画ゼミナール事業」について、参加するに当たりハードルを高くしているような感じを受ける。例えば親しみやすい表現を取り入れるなど県民が参加したくなるような戦略が必要ではないか。 ・ 「PR事業」について、例えばウィズセンターの実施した具体的な内容や参加者の感想を掲載するなどして、県民が参加したくなるような仕掛けを考えてはどうか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て中の女性への多様な働き方の機会提供事業」について、保育の関係課は子ども未来課になるので、連携を図りながら進めてまいりたい。

議 事	概 要
<p>ウィズセンター</p> <p>5 閉会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画ゼミナール事業」について、大半の講座を一般県民も参加できる公開講座としているが、いただいた意見も参考にしながら今後検討してまいりたい。 ・「PR事業」について、PRの一環としてホームページへの掲載、フェイスブックによる発信など行っているが、そこへたどり着けない方もいると感じているので、その辺りも工夫してまいりたい。 <p style="text-align: right;">以 上</p> <p style="text-align: right;">＜速報のため事後修正の可能性有り＞</p>